

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	効率的な更新計画検討事業費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	水道課		水道課長 宇仁菅 伸介		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い水道を確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道施設の整備・更新に関して、①更新のピークを迎えつつある水道施設の老朽化進行への対応、②東日本大震災を踏まえての耐震化の進捗、③人口減少による資金確保の悪化、といった背景から、中長期的視点に立った水道施設の計画的更新が必要であるため、特に中小水道事業者のためのアセットマネジメント導入に向けた取組を推進するものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	水道施設設置状況、耐震化基礎調査、水道施設整備施工技術動向調査、水道におけるアセットマネジメント導入等に関する調査、長期的な水需給を考慮した広域的な水道施設の再構築ガイドライン策定調査費、水資源開発施設の有効利用等に関する調査、浄水処理施設等の最適化に関する調査の実施。 ・効率的な更新による水道事業の情報を把握(平成24年度) ・新水道ジョンの考え方を踏まえた効率的な更新計画の推進(関係者との連携による推進手法検討)(平成25年度) ・アセットマネジメントを活用した効率的な更新計画策定の手引きを作成(平成26年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計			12	10	10	
	執行額				11			
執行率(%)				91.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (35年度)
	アセットマネジメント導入率		成果実績	%	-	-	30	100
			達成度	%	-	-	30	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	アセットマネジメント簡易ツール作成		活動実績 (当初見込み)	%	(-)	(-)	(100)	(100)
単位当たりコスト	10,611(円/未導入事業体)		算出根拠	執行額/アセットマネジメント未導入事業者(1,056)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	食品等試験検査費	10	10					
	計	10	10					

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、中長期的視点に立った水道施設の計画的更新を行うための特に中小水道事業者のためのアセットマネジメント導入に向けた取組を推進することは広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	中長期的視点に立った水道施設の計画的更新を行うための特に中小水道事業者のためのアセットマネジメント導入に向けた取組を推進することについては、全国一律に行う必要があり、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、中長期的視点に立った水道施設の計画的更新を行うための特に中小水道事業者のためのアセットマネジメント導入に向けた取組を推進することは広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	一者応礼のため。事業の着実な実施を担保しながら、より多くの業者が入札に参加できるよう仕様書の記載内容等について検討していく。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	講習会の実施件数によるところがあるが、適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	簡易版ツールを作成することにより、一部実施することができた。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	簡易版ツールは水道事業者のアセットマネジメントに十分に活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>将来の水道事業における運営基盤強化を図るため必要な事業であり、目標設定も行っている。H24年度においては、水道事業の運営に係る調査の整理・集計等、現状把握を行い、簡易ツールの作成が50%に留まったが、当該目的のために適正に執行できたと考える。なお、H25年度は当該結果を利用し、簡易ツールの作成完了を目指す。今後も契約に関する条件等の見直しの検討を行うなど、引き続き効率的かつ適切な執行に努めることとする。</p>				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	老朽化に伴う近年の水道施設の更新ピークに際し、中長期的な視点で水道施設を管理運営していく「アセットマネジメント」導入を推進するための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新24-0014

厚生労働省 11百万円

〔 調査仕様書の作成、請負業者の指導監督 〕



【一般競争入札】

A.(株)日水コン 3百万円

〔 効率的な更新計画検討に関する調査の実施 〕

対象外(事務費) 8百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(株)日水コン			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
食品等試験検査費	水道事業基本統計の調査費・印刷費・旅費	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日水コン	水道事業の運営に係る調査の整理・集計業務	3	5	91%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					